

平成 31 年度広島市立図書館 主要事業等

I 主要事業（案）

1 浅野氏広島城入城 400 年記念事業（中央図書館・佐伯区図書館湯来河野閲覧室）

平成 31 年は、浅野家第 3 代 長晟（ながあきら）公が広島藩主として入城し 400 年を迎えることから、被爆以前の広島の歴史を改めて認識し郷土愛を醸成するため、主に 9 月から 11 月にかけて、浅野氏広島城入城 400 年記念事業を実施する。

（1）中央図書館

- ・浅野家歴代藩主や広島藩の歴史について、中央図書館の特別コレクションである浅野文庫資料やパネル等で紹介する企画展の開催
- ・企画展に関連する講演会の開催
- ・浅野家歴代藩主の一覧や系図を掲載したリーフレットの作成・配布
- ・浅野文庫資料の一部をデジタルアーカイブ化し、インターネットで公開

〈これまでの取組〉

- ・歴史講座「江戸時代の広島～浅野家と広島藩～」の開催

平成 28 年度：全 4 回、平成 29 年度：全 10 回、平成 30 年度：全 10 回

（2）佐伯区図書館湯来河野閲覧室

- ・「浅野のお殿様も愛した湯の山温泉」をテーマとした浅野家と縁の深い湯の山温泉に関する講演会等の開催

2 西区図書館開館 30 周年記念事業（西区図書館）

西区図書館が開館して 30 周年を迎えることから、記念事業を実施する。

- ・開館 30 周年記念の展示やグッズの作成・配布

3 まんが図書館リニューアル記念事業（まんが図書館）

比治山公園の再整備事業の一環として、まんが図書館をリニューアル（書庫の増設、ロビーの整備等）することから、記念事業を実施する。

- ・広島ゆかりの漫画家 あすなひろしの複製原画の展示

4 被爆体験継承事業（中央図書館）

町の人々の暮らしに焦点をあて、「ヒロシマの町と人の記憶を伝える」（仮称）をテーマに被爆体験継承事業を実施する。

- ・証言集・手記・手紙・絵等の資料を紹介する企画展及び関連講演会の開催
- ・「白黒写真のカラー化」ワークショップの実施

〈これまでの取組〉

- ・平成 28 年度：企画展「原爆を伝える ―次世代につなぐヒロシマ・ナガサキの本―」の開催
- ・平成 29 年度：企画展「橋と樹木のもものがたり―被爆から復興、そして未来へ―」の開催
- ・平成 30 年度：企画展「ヒロシマを記録し伝えた人たち―未来への伝達―」の開催

5 ビジネス支援サービス（中央図書館）

産業支援機関、金融機関等と連携しながら、図書館の資料や情報を活用して、起業・創業を考えている市民のビジネス活動や高校生に向けた起業教育をサポートしている。平成 31 年度は、引き続き図書館がハブとなって、関連機関との連携を強化し、各種の取組を実施するとともに、利用の拡充を図る。

〈これまでの取組〉

- ・平成 19 年度：ビジネス相談会を開始
- ・平成 21 年度：セミナー「創業アカデミー1・2」を開始
- ・平成 25 年度：『高校生ビジネスプラン・グランプリ』ビジネスプラン作成講座」を開始
- ・平成 29 年度：図書館総合展「地方創生レファレンス大賞」において、サービス活用の開業事例「創作おはぎで地域に笑顔を」が「図書館振興財団賞」を受賞
- ・平成 30 年度：企画展「広島で起業！ 「夢を叶える」を応援します」において、サービス活用の開業事例（和菓子店ほか 7 事例）を紹介

6 子どもの読書活動の推進（全図書館）

全館をあげて、引き続き総合的・計画的に子どもの読書活動の推進を図る。

（１）こども図書館

- ・学校図書館相談窓口の運用
- ・家庭読書アドバイザーの派遣
- ・ボランティア養成・支援に係る研修会、交流会等の開催
- ・学校・ボランティア等支援図書セットの貸出
- ・小学生おはなしクラブの実施
- ・「発達段階別図書リスト」の作成・配布

（２）中央図書館

- ・中・高校生向け「職業ハッケン!!コーナー」の充実
- ・高校生向け出前ブックトークの実施
- ・「高校生ビジネスプラン作成講座」の開催
- ・高校生向け通信の発行

（３）区図書館等

- ・おはなし会等の開催
- ・青少年向けオススメ図書の展示

Ⅱ 施設整備等

1 施設整備

(1) 中央図書館浅野文庫収蔵庫空調設備改修実施設計

概要： 経年劣化している空調設備を更新する。

実施時期： 平成 31 年度

(2) 佐伯区図書館非常用発電設備改修

概要： 経年劣化している非常用発電設備（佐伯区民文化センターと共用設備）を更新する。

実施時期： 平成 31 年度

2 図書館コンピュータシステムの更新

概要： 現行システムの運用・保守契約期間（平成 27 年 10 月～平成 32 年 9 月）の満了に伴い、機器等を更新する。

実施時期： 平成 31 年度～平成 32 年度